

千葉大学医学部附属病院で
食道 pH・インピーダンス検査および食道内圧検査をされた
患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024 年 5 月 29 日

消化器内科

消化器内科では、食道癌における胃食道逆流症 (GERD) の影響に関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2013 年 9 月 26 日～承認日前日（承認日確定後日付を記載する）の間に消化器内科で食道 pH・インピーダンス検査および食道内圧検査を行った方。

1. 研究課題名

「食道癌における胃食道逆流症 (GERD) の影響」

2. 研究期間

2024 年承認日～2027 年 3 月 31 日

この研究は、附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

胃食道逆流症 (GERD) は、胃内容物の逆流によって不快な症状あるいは合併症を起こした状態と定義されます。近年 GERD の有病率は世界中で増加しており、日本においても、食生活の欧米化やピロリ菌感染率の低下、高齢化などを背景に増加傾向であることが報告されています。今までの研究により、飲酒や喫煙の習慣に加えて、GERD は食道癌の危険因子となることが報告されていますが、食道癌の種類によっては GERD との関連が未だ不明なものもあります。また、実際の臨床においては主要な危険因子への曝露歴が明らかでない食道癌患者が発見されることも少なくありません。

今回の我々の研究は、食道癌の患者さんにおいてカルテレビューと今後の経過の観察によって、食道癌に影響する病態、背景因子、及び長期経過を明らかにすることを目的としています。この検討を行うことで、食道癌のハイリスク因子を特定し、発癌リスクを軽減する一助になると考えられます。

日本よりも個人情報やプライバシー等に関する法律や規制が十分でない国・地域の法律や規制は、個人情報保護委員会から公表されています。

(<https://www.ppc.go.jp/personalinfo/legal/kaiseihogohou/#gaikoku>)

4. 研究に用いる情報の種類

- ・ 診療録に記載されている性別、年齢、身長、体重、BMI [Body mass index]、併存疾患、内服薬、嗜好 [飲酒歴、喫煙歴]、血液検査値、ピロリ菌除菌歴の有無
- ・ 問診票での調査 (症状について、飲酒歴、喫煙歴、フラッシュの有無、家族歴)
- ・ 24 時間 pH、インピーダンス検査
- ・ 食道内圧検査
- ・ 上部消化管内視鏡検査 (ルゴール散布による食道の炎症の評価、胃粘膜の萎縮の評価、食道裂孔ヘルニアの有無の評価を含む)

5. 研究組織 (情報を利用する者の範囲)

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：消化器内科 診療准教授 松村倫明

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院消化器内科および各研究機関において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

消化器内科 医師 松村倫明 / 尾崎友美

043(222)7171 内線 6672(消化器内科受付)